



No.23

柏市を教育・文化のまちに。

山下洋輔新聞

無所属

元教師

2児の父

ボランティア募集！

山下洋輔は、クリーンな政治を目指しています。皆様のお力が必要です。この新聞を配布してくださる方を募集しています。散歩がてら、ご近所だけなど、何枚でもかまいません。地域をよりよくするため、一緒に活動しましょう。

2019年12月20日

12月の議会では、防災、気候変動、市立柏高校、待機児童対策、柏駅前のまちづくり。手賀の丘公園について質問しました。

○ 柏駅前のまちづくりーぞごう柏の現状とこれから

柏そごうが撤退して3年、いまだ三井不動産株式会社が権利取得に向けて交渉中で、その後の利活用の目途はたっていません。柏市は、「民間の話し合い」と突き放すのではなく、市としても具体的に働きかけていくべきです。

今、柏駅西口再開発も、三井不動産株式会社が交渉しています。東口-西口の一体的な開発を期待します。これに関連して、市長から以下の議会答弁がありました。

「柏セントラルグランドデザインでは、まちの魅力と拠点性を高めて交流人口を増やすことが示され、東西自由通路の拡幅や柏駅北側への玄関口設置などがあげられている。すでに柏駅西口再開発関連で、東武鉄道とも協議をしている。旧そごう跡地利活用を見据え、JR東日本の敷地を占有している北口自由通路の重要性が高まることが想定される。JR東日本とも協議していくべきだ。」

柏駅北口設置案も出ています。さらに、西口の開発に合わせ、柏の葉と西口を結ぶ路面電車などを実現させ、柏駅東西だけでなく、柏駅-柏の葉をつなぐよう、私も働きかけていきます。

○ 子どもを中心としたまちづくりー明石駅前再開発ビルを視察



明石駅前にある駅前再開発ビルを視察。市庁舎が建設される予定を見直し、市民ニーズの高い図書館と子育て支援施設も設置された複合商業施設に変更されました。予定変更で、市の負担は約30億円軽減したこと。

図書館と子ども支援センター・若者センター。幅広い世代の市民が駅前を訪れます。子育て支援センターの近くには、子どもの遊び場があり、遊ばせに来たついでに、育児相談もでき、明るくオープンな雰囲気も感じられます。

明石市は、大阪や神戸に通う市民のベッドタウンとして、「子どもを核としたまちづくり」を目指しています。

「ひと」と「文化」に取り組むことにより、明石市は住みやすいまちとして、人口が増加し、子育て世帯が増え続けています。

開館前に比べて約4割の人通りが増え、駅前のにぎわいが戻り、地域経済も上向き、まちに確かな好循環が生まれているとのこと。こんな施設が、柏駅前にも求められていると感じます。

山下洋輔のプロフィール

1978年4月生まれ。41歳。

東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学。図書館司書資格。

「柏まちなかカレッジ」学長として市民大学を主宰し、地域の教育・文化を盛り上げている。

【趣味・特技】歴史散策、剣道、クレヨン絵画、カポエイラ、三線、バイク、バスケ、JAZZ

【家族】妻、長男（2014年生まれ）、長女（2017年生まれ）

*タイトルのイラストは、『ひとりごはんの背中』（講談社）で著者の能町みね子さんの取材を受け、描いて頂いたものを使用しています。

柏まちづくり俱楽部開催（毎月最終木曜日19時～） 参加ご希望の方は、ご連絡ください。
連絡先は裏面に記載しています。

○ インフルエンザ治癒証明書の廃止が実現！

昨年、柏市議会でインフルエンザ治癒証明書提出の廃止を求めました。今年度より柏市内全校で、インフルエンザの治癒証明書にかわり、保護者からの「インフルエンザ経過報告書」の提出で済ませられることになりました。

これまで、柏市の保育園・小学校では、インフルエンザ罹患後、登園・登校する際には治癒証明書を求めていました。せっかく回復した子を病気が蔓延する病院に連れて行くことは、他の病気への再感染の恐れや、親の負担、病院がますます込み合うなどの懸念がありました。

親御さんからの困った声をお聞きし、全国の自治体の状況を調べ、働きかけました。市民の声が、行政を変えていくことを実感しています。

○ 災害に強いまちづくりーしなやかな回復力のあるレジリエント・シティ



気候変動や政治経済情勢のリスクを踏まえ、今、世界ではレジリエントシティが注目されています。

災害に強く、復旧体制が整っていることは、住むことやビジネスの拠点をどの都市に置くかを検討する上で重要な条件になっています。このような観点から、防災について重点的に議会で質問しました。

また柏市地球温暖化対策計画についても質問し、温暖化対策は環境部の担当部署だけではなく、柏市全体で考え、取り組んでいくべきことを述べました。この防災についても、起きた災害について災害担当部署だけが対応するのではなく、災害に強い都市計画や水循環など自然環境を生かしたグリーンインフラの整備、助け合える地域コミュニティや地域経済など、まさに柏市政全体で取り組むべきものです。

特に、柏駅は交通の要であり行政機関や商業が集まり、そして何より柏市の顔となる地域です。柏駅前に、災害時でも耐えられる下水幹線の整備とともに、来街者のいこいのスペースとして要望の多い緑や広場など、避難場所やグリーンインフラの機能もふまえた都市整備を求めました。

【写真】 大堀川雨水幹線工事を見学

○ 災害に強い高層マンション防災対策の先進事例集

全国の中心市街地では、商業地域でもマンションが増えています。柏駅前でも同様に、マンション住宅が増える傾向にあります。しかし、全国的にもマンション防災対策の体制が確立されていないのが現状です。

台風19号では、武蔵小杉の被害が報道され、高層マンションの弱さが強調されました。停電時、エレベーター・水道、下水はどうなるか？、マンション住民はどこに避難するか？、誰が、どのように避難所を運営するか？、支援物資は割り当てられるのか？、管理組合の役員になつたが、どうしていいかわからない。自分自身は危機意識を持っているが、他のマンション住民がまとまらないなど、マンション特有の課題があります。

そこで、先進事例を調査し、まとめられた『マンション防災減災事例BOOK』が制作されています。柏市のマンション住民の方々と、この本の情報を共有したり、話し合う場を作つたらと思います。ご興味ご関心のおありの方、ご連絡ください。

山下から一言

戸張交差点の工事が今年度中に始まり、右折車線つきの交差点となります。通学・通勤の歩行者、自転車、車の通行が激しく、地域の要望の大きい事業。私が議員活動させて頂き8年。ついに実現です。

連絡先

TEL: 04-7170-0668

Mail: info@y-yamasita.com



山下の活動や考えを報告しています。

ご感想やご意見もお寄せ下さい。

[HP] <http://y-yamasita.com>

(ブログほぼ毎日更新しています！)

[twitter] @yosukekeyama



山下洋輔HP